



高知県  
**高知県民文化ホール**  
 大ホール／小ホール  
 KOCHI PREFECTURAL CULTURE HALL  
 設計：(株)石本建築事務所

竣工：1976年 改修：2011年

客席を全席更新。大ホールはイスを幅広にし、より見やすくレイアウト変更。

**改修の背景・理由**

開館後30年以上が経ち施設の老朽化が進み、さらに近い将来に予想される南海地震へ対応するため、大規模改修工事を実施。また耐震補強と同時に、より快適で

使いやすいホールを目指して施設・設備を改新した。

要望には「大ホールおよび小ホールの全客席を更新」

「大ホールの長時間着座でも、疲れずゆったりと楽しく鑑賞を」

「大ホール1階席中央部に座る観客の視界を確保」

「大ホールのバリアフリー化を促進」などがあげられた。



改修前の大ホール

**SOLUTION**

➡ **イスを新しく全席入替え。規格品をベースに、各ホールのインテリアに合わせた特注仕様で。**

- 大ホールのイス幅を、480mmから500mmに、可能な限り拡大。
- 大ホールは明るいオレンジ系、小ホールは明るいグリーン系の特注張地を採用。
- 背もたれの高さを、平場・スロープ・段床のそれぞれの床形状に合わせて細かく再設定。
- サンプルでデザインや座り心地を徹底検証。
- イスの音響試験データを提出。
- 足下灯に、LED照明を採用。集中管理も可能なタイプ。実地測定により照度と数量を検証。



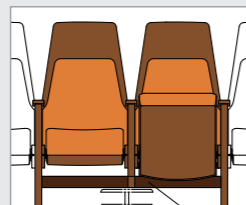
キャスター付の移動席



鉄板を敷いて固定

➡ **大ホールは席数を維持しつつ、見やすくレイアウト変更。**

- 視線が重ならないよう、1階中央席を千鳥配列に変更。
- イスが幅広になっても、改修前と同規模の席数を確保するため、通路位置を再設定。
- 1階平場部に、キャスター付の移動席を採用。取り外せばオーケストラピットに。
- レイアウトが変わった1階の左右端の席では、舞台が確実に見えるかを、実際にサンプルを置いて検証。



既存マッシュルーム 連結管脚  
 連結管脚対応席

➡ **取り付け施工では、既存設備を損なわないよう配慮。**

- 既設の床暖房（空調循環用）を保護するため、金属探知機でヒーター位置を調査。接触部は鋼板を介してイスを固定。（大ホール）
- マッシュルームなど既存設備をできる限り生かすよう、脚数が少ない連結管脚対応席を部分的に採用。



車イス席。取り外して移動可能

➡ **車椅子席を増設し、バリアフリー化を促進。**

- キャスター付の移動席を採用、取り外せば車イス席に。



小ホール「グリーンホール」／ATS-1105DR特注品 500席（固定席494席・移動席6席）



大ホール「オレンジホール」／ATS-1300DR特注品 1507席 1階 1001席（固定席863席・移動席138席）、2階 506席（固定席）

